

謹んで初春のお慶びを申し上げます



診療所だより

第四四〇号 (1月号)

発行 (医) 宏友会
上田診療所
酒田市上野曾根
字上中割7 3番地
TEL.0234-27-3306
責任者 矢島恭一

本年もよろしくお願ひします！

昨日より
ちょっと素敵な
今日にしよう
村上 恵美子

健康に過ごす
高橋 陽子

無理せず健康で
一年を過ごす
小松 麻理

日々、明るい
気持ちで過ごす
大井 才代

前向きに、
何事も地道に
コツコツと
池田 萌子

心に余裕を持ち
笑顔で過ごしたい！
齋藤 梢

1年間
健康に過ごす
菅原 恵

ワクワク・ドキドキ
最後は笑顔で
矢島 恭一

辰巳先生の料理
教室に参加して
料理の腕をあげる！！
佐藤 真紀

毎日を丁寧に生きる
筋トレも継続！
古庄 えり

楽に動ける
身体になる
森屋 恵

年間行事を
丁寧に執り行う
堀井 由香

宝くじで
高額当選を当てる！
佐藤 真由美

5kgダイエット
(再)
鈴木 きみ

体を引き締める！
階段昇降 10 往復！
齋藤 夕子

なるべく外出する
めざせアウトドア派
平井 裕美子

いち早く戦力に
なれるように努める！
海藤 賢

※上段左から順番に紹介
海藤 賢さんは前月号に
写真を掲載しております

新春特別寄稿

多文化共生社会の実現に向けて

富樫 繁

「ミンガラバー」私が初めて覚えたミャンマー語、「こんにちは」という意味になります。日本の挨拶とは違い昼夜問わずに「ミンガラバー」を使います。

私は2年と2ヶ月間ミャンマーに滞在していました。2021年2月に国軍によるクーデターが発生して国の混乱は、今尚治まっていません。2021年12月、私は救援便の行きに乗りミャンマーに降り立ちました。そこは華やかな感じの空港とはかけ離れ、ライフル銃を持った軍人が立っているという異様な雰囲気でした。

当時、私はミャンマーで小さな事業を営んでおり、その事業を閉めざる得ないことになる事を念頭に置き、一方では日本での労働を望む若者に興味を抱いていました。案の定、経済はガタガタで私の事業は半年で閉めることにしましたが、巡り合わせの運でミャンマーでも最大規模の日本語学校の校長という職務が舞い込んで来たのです。職務に就いた2年間は凄まじいものでした。ちようどコロナ禍が世界的に落ち着き始め、日本からの旺盛な求人が絶え間なく入り、約360人の在校生では対

応できない状態になったのです。

日本人から見ると日本で勤勉に働く技能実習生・特定技能生には拘りを持っていました。そこで地方の「素朴で素直な子」を求め、地方に分校を3つ作り、人財を確保しました。ミャンマーではこの地方に行っても若者と子供が多いこと。社会基盤・生活は日本の50年前前の感じだが、若者と子供が沢山いるだけで町や村が活気に満ち溢れることを実感しました。社会の混乱は続き、志の高い若者は海外で働くことを望んでいます。一番の人気国は日本です。その熱気は凄まじく、学校で30名の募集を募ると2日で100名の願書が集まる程でした。その日本は今後も生産年齢人口が確実に減り続けます。需要と供給が合致していることを目の当たりにしたのです。

昨年2月に日本へ帰って来た際、全ての感覚がリセットされ色々なことを感じました。その中で、やはり若者と子供の少なさが一番でミャンマーとは正反対であることです。一種のものの寂しい雰囲気を感じずにはいられません。本楯の祭りでは神輿を引いている子供達、旗持ちのうらら様ミャンマー若手が通り過ぎた時に私の中で決心がつかしました。

ミャンマーでの経験と日本で感じた事から、この地でミャンマー国のあの若者達を受入れて支援することに決めたのです。

人手不足は日本の大きな課題です。山形県の人口に対する外国人の割合は全国で44番目であり、人口に対する外国人労働者の割合も同じでしょう。特に医療・福祉関係の外国人労働者は少ない傾向にあります。政府の資料を拝見すると「共生社会」という言葉があちこちに登場します。R6年度、吉村知事は「多文化共生元年」を重要施策項目に掲げました。R7年度では「山形県多文化共生推進プラン」を発表します。

共生社会とは「さまざまな違いのある人々が、対等な立場で相互に尊重しあい、多様な形で参加・貢献できる社会」。単に外国人と一緒に働くことではありません。私はサラリーマン時代にマレーシアの工場で働いた経験があり、マレーシアは多文化・他民族が上手く共生している有名な国の一つです。工場でも様々な人々が混在していました。就業時間内にイスラム教徒のためにお祈りの時間も設けられていました。その経験で感じたことは、お互いがお互いの文化・慣習を認め合い、何と云うか深く入り込みもしないが干渉もせず、上手い距離感を持っている姿でありました。

ミャンマー国の9割は仏教徒です。その特徴の一つに先生や上司、長老者を敬うことが上げられます。10月の満月の時期に行うタテンジュ祭りでは、お世話になってる年配者に贈物を捧



タテンジュ祭りで年配者を敬う様子

余談 タテンジュ祭りで私が拝まれていた際、この子供達をしつかり面倒見なくてはいけないと心に誓うと同時に何だか変な気持ちになり「オレはまだ死んでないんだぞな・・・」と思い、これもおもしろ文化の違いだなやの。

上げて拜むのです。共生社会を共に作る点、介護職への適用という点では入り易いのではないかと考えます。

宏友会様は、ここ山形において先進的に外国の介護職員を採用されています。先を見据えたすばらしい取り組みであると感じます。もちろん課題もあります。私の立場からの一番の課題は、最低賃金制度の中で田舎でも長期に渡って就業定着してもらうことです。いずれにせよ、本年4月には本楯に若者が4名増えます。空き家は一軒減ります。これだけでも嬉しく思い、そして地域の活性化には何らかしら繋がると思っています。まずは5月の本楯祭

年頭にあたって

矢島 恭一

最近では生年月日を西暦で記載することが多くなりましたが、西暦で記載するより元号で〇〇年と書くことが多かった私たちは、「では何歳ですか？」と訊かれて、とっさに答えられない経験をしたことはありませんか？

そういう意味では、今年が昭和百年。自分の誕生日が来たら、100から生年元号を差し引けば良いこととなります。

昭和元年は、12月25日に始まっていますから、昭和元年生まれの人は、多くはないと想像できますが、翌年昭和2年生まれの方は、100から2を引くと98になりますので、誕生日を迎えると満98歳ということになります。

年号がまたがると、ややこしくなりますので、年齢早見表が必要になります。今年の年齢早見表を見ると、一番上が大正11年になっており、103歳になるそうです。でも現実には、それ以上の長寿の人が増えてきましたので、早見表を頭の中で作らなければなりません。もっとも最近のパソコンには、早見表が組み込んであり、元号を入力すると西暦に変換してくれます。

さて今年の抱負です。3つあります。最初は、少子高齢社会の先にあ

る人口減少という時代を見据えた組織の改編です。私は現在上田診療所、老健施設うらら等運営する医療法人と、ケアハウスふるさと、本楯保育園などを運営する社会福祉法人の理事長を兼ねておりますが、自分の歳を考えると両法人を統合して若い人たちに運営してほしいと考えております。

また当地域には、医療と介護、福祉の連携を強化したいという目標のもと設立された地域医療連携推進法人「日本海ヘルスケアネット」があります。新法人がその傘下に入ることは、より



経営基盤を安定化できるとの期待があります。

形態上は、社会福祉法人に医療法人の事業を譲渡するという形にしなければならぬという法律の縛りがありますが、その中で上田診療所もうららも運営できるので、地域の皆様にはご迷惑をおかけすることはありません。

二番目は、時代の著しい変革期に当たって、その潮流に遅れをとらないようにすることです。

携帯電話一つをとっても、めざましい進化を続けています。私は様々なアプリをダウンロードして使おうとするのですが、必ず使えらるとは限りません。

そんな時は、周りの若い人に教えを乞うと意図も簡単に解決してくれます。

今年中に使えるようになりたいと思っているのが、Aiを使ったChat GPTを自由に操れる様になることが目標です。

例えばこの「診療所だより」の原稿。現在は印刷に持って行くまでに、複数の方に校正をお願いしていますが、Aiソフトに読み込んでもらうと瞬時に校正してくれるそうです。(まだ私は使っていませんので分かりませんが)

こんな文章を作ってくれと指示を出すと、私の下手な文章より余程ましな文章を作成してくれるそうです。全文を読むのは、面倒くさいと思う長文についても要約してくれという指示を出すと、すぐに要約文が出てきます。私も人にやってもらったことはあるのですが、要約文だけ読んでもそのまま信じて良いのか疑問を持ちました。

三番目は、私個人のことをちよつとだけ。

たくさんの方から私の健康を気遣って「健康になって良かったですね」という言葉をかけられますが、更に体調には注意を払っていききたいと思えます。

今より徐々に仕事量を減らして、自分の好きなことをやりたいですね。昨年は、気候変動による災害の多い年でしたが、災害時の経験を忘れることなく、安寧な世の中であってほしいと切に願うばかりです。

りへの参加かな。

私は、ミャンマーの勤勉な若者を受け入れて働いてもらい、受入れ法人様と就労者の双方がWin-Winになることを願っています。この庄内地域にミャンマーのコミュニティが出来上がり、日本人も外国人もお互いに認め合い、地域を構成する一員として共に活躍できる「庄内おもしろい共生社会」を築くことが夢です。そのためには一人では成し遂げることはできず、宏友会様のご協力と助けを借りるとともに自治体をも動かし、支援機関・受入れ法人様・自治体が三位一体となって「庄内おもしろい共生社会」を本年は一歩ずつ築きたいと考えております。



日本で働くために勉強に励む介護クラス

富樫さんは本楯出身の方です。お母様は私の外来に通ってきてくれます。縁あって今年4月からうららで働く介護人材をお世話して頂きました。

▶国営越後丘陵公園にて
一面のチューリップがきれいでした

▶5月・白川湖にて
もうすでに気温が高かったので
湖面に涼を感じました

Instagram



検査技師
大井才代



職員が撮ったお気に入りの紹介をします★

12月号の答え ① 3画目 ② 3画目

富山市在住の土田芳男さん(百歳)
より届いた絵手紙をご紹介します。



今月の
絵手紙

今月の



答えは来月号です♪

① ずかんしおけ
② しまけやなん

※都道府県がかくれています。
ひらがなを並び替えて
単語を作ってください！

脳トレ



アタマの体操

編集後記
一面の新年の抱負を書き換えながら前年を振り返り、今年こそはと意気込んでおります。皆様様の抱負はいかがでしょう。目標に向かい、元気に過ごして参りましょう。
(平井)

お知らせ
*予防接種の費用助成期間が一部延長されました
〜令和7年1月31日まで
・高齢者・季節性インフルエンザ
・新型コロナウイルス感染症
右記の接種をご希望の方は
お問合せください。

窓口にて
発売中!



「続・庄内百考 ふるさと雑記」
発行
診療所だよりに掲載されているシリーズ「ふるさと」をまとめた庄内平野さんの著書が発刊されました！